

全校朝会（わくわくスクール）

2018. 7. 2

6年生に、「夏と言ったらこれ」というものを教えてもらいました。

先週、4年生が校長室にインタビューをしにきました。4年生は今、新聞づくりをしているそうです。グループごとに「戸三小の昔のこと」や「戸三小の特色」などのテーマで新聞を作っているそうです。4年生は、昔の校長先生の写真をカメラで撮ったり、桜の木はいつごろからあったのかを調べたり、戸三小の子供の人数が昔は多かったのかどうかを調べたり、戸三小にはあるけれど他の学校にはあまりないものを見付けたりしていました。桜の木は、今から60年前の写真には写っていましたが、その前の写真が見つからなくて困っています。お家の人で知っている人がいないか聞いてみてください。分ったら教えてください。戸三小の子供の人数は、学校ができた時には、726人だったのですが、それから6年後には、1年生から6年生までで1000人を超え、教室の中がぎゅうぎゅうで一度座ったらなかなか立つことができなかつたそうです。他の学校にはあまりないものは、サマーフェスティバルや音楽会やお話コンチェルトなど、いろいろあります。今日か明日みなさんに配られるこのリーフレットの「夏休みわくわくスクール」も、他の学校ではあまりやっていないものです。今年は、オルト保育園に行って小さい子のお世話をしたり、富士大学の体育館で卓球をしたり、つまみかんざしのお話を聞きに行ったり、高田馬場公園でセミを見たりするなど、学校に集合してから他の場所に移動する者を含め、全部で16のプログラムがあります。ぜひ、おうちの人と話し合っ、たくさん申し込んでください。

土曜日に学校で仕事をしていたら、施設管理員の村上さんが「太陽の周りを見るとすごいですよ。」と教えに来てくれました。小澤先生と一緒に急いで屋上に行って太陽を見ると、なんと、太陽の周りに虹色のわっかができていました。とてもきれいなので写真に撮りました。太陽の光が進んでいく途中に雲があって、その雲の中にある氷の粒に太陽の光が当たって、いろいろな方向に進むとできるわっかなのだそうです。ハロ現象とか日暈などと言われていて、とても珍しいそうです。珍しくてきれいなものを見ることができて、私も小澤先生も、心がほっとして「よし、この後も仕事を頑張ろう！」という気持ちになりました。ととてもうれしかったです。この「日暈」という太陽の周りの虹色のわっかが出ると、天気が崩れたり天気が良くなったりすることが多いそうです。金曜日に関東地方の梅雨明けが気象庁から発表され、これから暑い日が続くことと関係があるのかもしれませんが。関東地方が6月に梅雨明けすることは、観測史上初めてのことだそうです。今年は、梅雨の時期がとても短かったなと思います。田んぼの稲などは、雨が少なくて大丈夫でしょうか。みなさんの野菜やアサガオ、ひまわりや、バケツ稲はどうですか。水がなくて枯れてしまわないように、気を付けてあげましょう。

暑い日が続くので、みなさんも休み時間には水を飲むようにしましょう。

転入生の紹介をしました。(2年生)